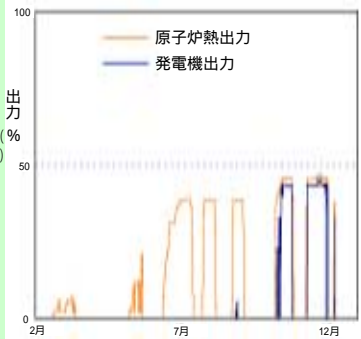
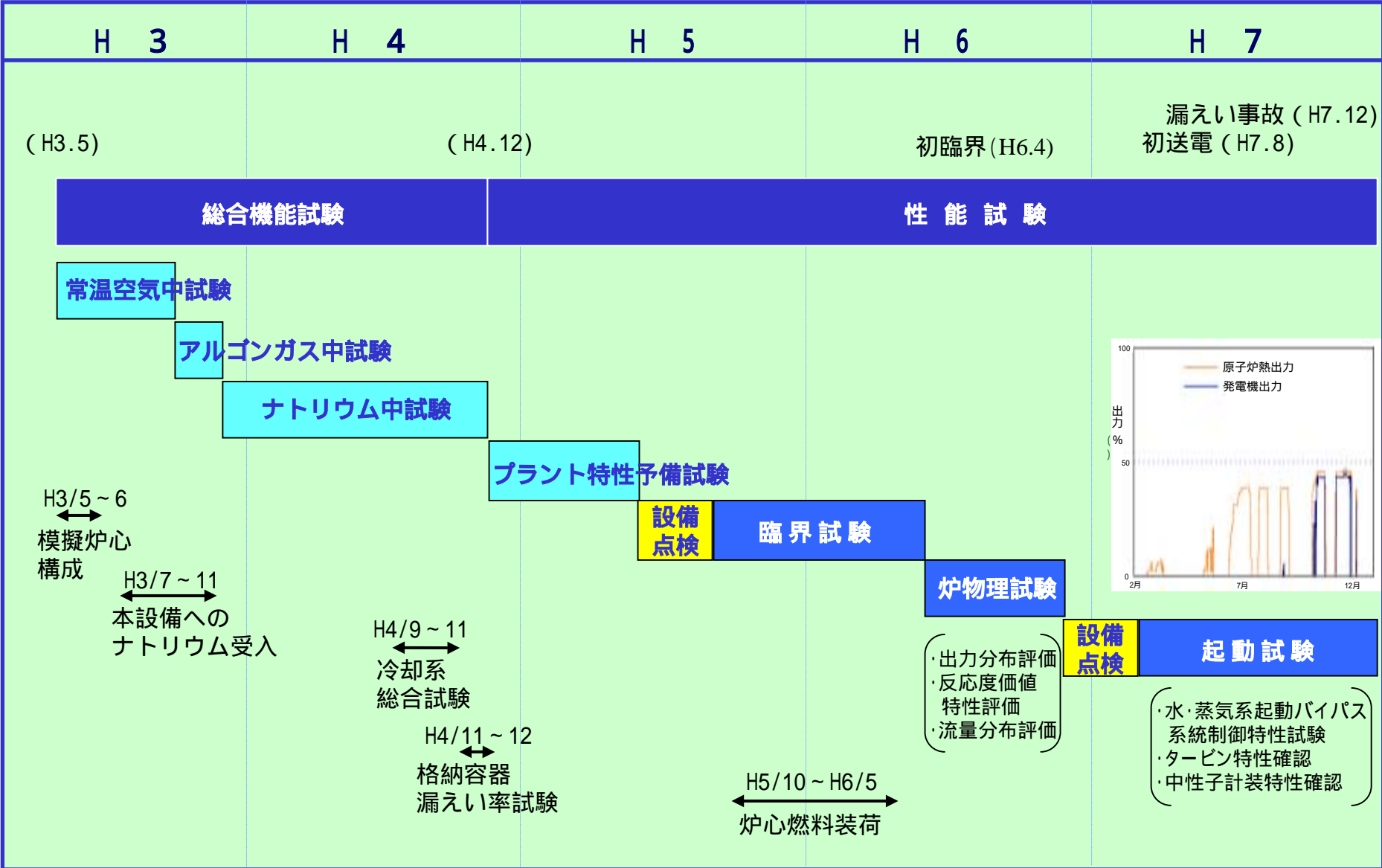


高速増殖原型炉もんじゅの主な経緯

- 昭和45年 5月 4日 敦賀市は動力炉・核燃料開発事業団（現：核燃料サイクル開発機構、以下動燃事業団という）からの高速増殖原型炉建設に向けた調査申し入れを了承
- 昭和51年 6月17日 県は動燃事業団の事前調査申請を了承
- 昭和53年 8月28日 動燃事業団は国および県に「環境影響調査書」を提出
- 昭和55年12月 9日 県は高速増殖原型炉もんじゅの安全審査に入ることを了解（12月10日 原子炉設置許可申請）
- 昭和57年 5月 7日 県は高速増殖原型炉建設を了承（5月14日 閣議決定）
- 昭和58年 5月27日 高速増殖原型炉もんじゅの原子炉設置許可
- 昭和60年10月25日 本格工事着工
- 平成 3年 5月 1日 総合機能試験開始
- 平成 4年12月17日 性能試験開始
- 平成 6年 4月 5日 初臨界
- 平成 7年 8月29日 初送電
- 平成 7年12月 8日 電気出力40%で運転中、2次系ナトリウム漏えい事故発生
- 平成 8年 1月23日 総理大臣ほかに三県知事提言
- 平成 8年 4月～ 9月 原子力政策円卓会議開催
- 平成 9年 1月～12月 「高速増殖炉懇談会」
- 平成 9年 2月20日 科学技術庁「もんじゅタスクフォース」調査報告書
- 平成 9年 4月～ 8月 動燃改革検討会
- 平成10年 3月30日 科学技術庁「もんじゅ安全性総点検」報告書
- 平成10年 4月20日 原子力安全委員会「もんじゅ事故調査ワーキンググループ」第3次調査報告書
- 平成12年 9月28日 原子力安全委員会「もんじゅ安全性確認ワーキンググループ」報告書
- 平成10年 9月～平成12年 2月 原子力政策円卓会議開催
- 平成10年10月 1日 核燃料サイクル開発機構が設立
- 平成11年 5月～平成12年11月 長期計画策定会議開催
- 平成12年11月24日 原子力長期計画決定
- 平成12年12月 8日 県と敦賀市は安全協定に基づき事前了解願いを受理
- 平成13年 6月 5日 県と敦賀市は原子炉設置変更許可申請について了承
- 平成13年 6月 6日 核燃料サイクル開発機構は、国に原子炉設置変更許可を申請

もんじゅ試験運転実績



「もんじゅ」2次主冷却系ナトリウム漏えい事故後の主な経過

